# イーストスプリング・グローバル・ダイナミック株式ファンド（毎月決算・予想分配金提示型）

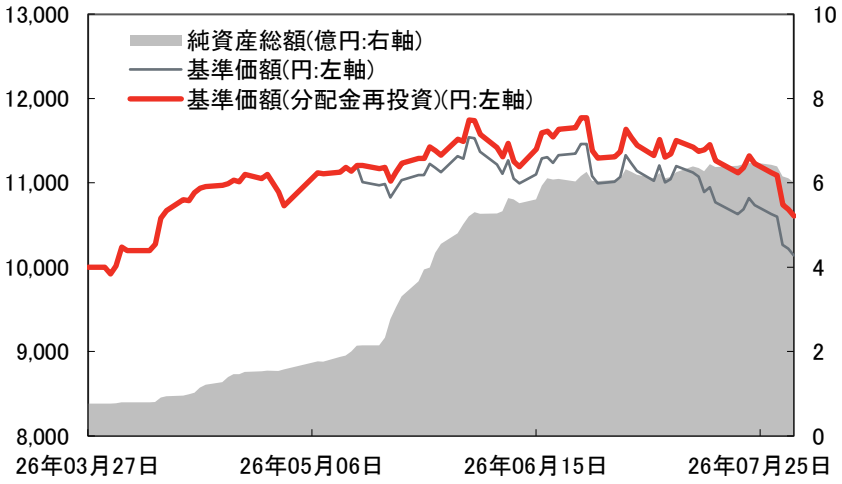
追加型投信／海外／株式

月次運用レポート（販売用資料）

作成基準日： 2026年7月31日

設定日： 2026年3月27日
決算日： 毎月15日（休業日の場合は翌営業日）
信託期間： 無期限

## 基準価額・純資産総額の推移／ファンドの運用状況




2026年7月31日現在

| | |
|---|---|
| 基準価額： | 10,141 円 |
| 前月末比： | −928 円 |
| 純資産総額： | 6.0 億円 |
| 前月末比： | −0.1 億円 |

※基準価額は、信託報酬（後掲の「ファンドの費用」をご参照ください）控除後の数値です。
※基準価額（分配金再投資）は、信託報酬控除後かつ税引前分配金を全額再投資したものとして計算しています。
※ファンドの期間別騰落率は、基準価額（分配金再投資）をもとに計算しています。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

## 期間別運用実績（騰落率）

| 期間 | 1ヵ月 | 3ヵ月 | 6ヵ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ファンド | −6.7% | −2.6% | − | − | − | 6.1% |

## 分配の推移（1万口当たり、税引前）

| 決算期 | 第1期<br>2026/5/15 | 第2期<br>2026/6/15 | 第3期<br>2026/7/15 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分配金 | 200 円 | 100 円 | 200 円 | | | | |

| 決算期 | 設定来累計 |
|---|---|
| 分配金 | 500 円 |

※分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

## 主要な資産の組入状況

| | |
|---|---|
| イーストスプリング・インベストメンツ − グローバル・ダイナミック・グロース・エクイティ・ファンド　クラスJ」 | 97.9% |
| イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け） | 0.1% |
| 現金・その他 | 2.1% |

※比率は、純資産総額を100%として計算しています。
※四捨五入の関係上、合計値が100%にならないことがあります。

当ファンドのリスク、手数料等の概要は、当資料内の「投資リスク」、「ファンドの費用」の欄をご覧ください。
また、それぞれの詳細につきましては、最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

英国プルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるプルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

# イーストスプリング・グローバル・ダイナミック株式ファンド（年2回決算型）

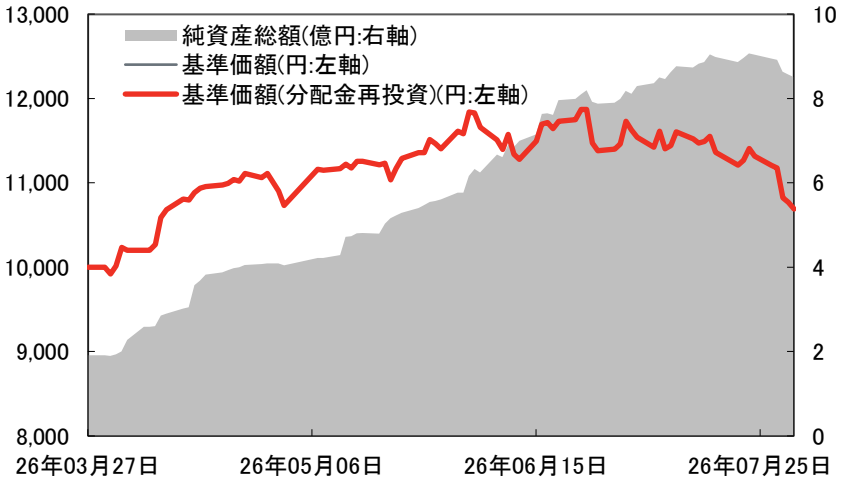
追加型投信／海外／株式

月次運用レポート（販売用資料）

作成基準日： 2026年7月31日

設定日： 2026年3月27日
決算日： 毎年3月15日および9月15日（休業日の場合は翌営業日）
信託期間： 無期限

## 基準価額・純資産総額の推移／ファンドの運用状況




2026年7月31日現在

| | |
|---|---|
| 基準価額： | 10,692 円 |
| 前月末比： | −770 円 |
| 純資産総額： | 8.5 億円 |
| 前月末比： | +0.5 億円 |

※基準価額は、信託報酬（後掲の「ファンドの費用」をご参照ください）控除後の数値です。
※基準価額（分配金再投資）は、信託報酬控除後かつ税引前分配金を全額再投資したものとして計算しています。
※ファンドの期間別騰落率は、基準価額（分配金再投資）をもとに計算しています。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

## 期間別運用実績（騰落率）

| 期間 | 1ヵ月 | 3ヵ月 | 6ヵ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ファンド | −6.7% | −1.9% | − | − | − | 6.9% |

## 分配の推移（1万口当たり、税引前）

| 決算期 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分配金 | | | | | | | |

| 決算期 | | | | | | 設定来累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 分配金 | | | | | | − |

※分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

## 主要な資産の組入状況

| | |
|---|---|
| イーストスプリング・インベストメンツ − グローバル・ダイナミック・グロース・エクイティ・ファンド　クラスJ」 | 97.9% |
| イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け） | 0.1% |
| 現金・その他 | 2.0% |

※比率は、純資産総額を100%として計算しています。
※四捨五入の関係上、合計値が100%にならないことがあります。

当ファンドのリスク、手数料等の概要は、当資料内の「投資リスク」、「ファンドの費用」の欄をご覧ください。
また、それぞれの詳細につきましては、最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

# イーストスプリング・グローバル・ダイナミック株式ファンド（毎月決算・予想分配金提示型）／（年2回決算型）

追加型投信／海外／株式

月次運用レポート（販売用資料）

作成基準日： 2026年7月31日

投資先ファンド：「イーストスプリング・インベストメンツ - グローバル・ダイナミック・グロース・エクイティ・ファンド」の状況

## 資産別組入状況

| 資産の種類 | 比率 |
|---|---|
| 現物株式 | 91.7% |
| デリバティブ等 | 0.0% |
| 現金・その他 | 8.3% |

| | |
|---|---|
| 組入銘柄数 | 40 |

## 組入上位5通貨

| 通貨 | 比率 |
|---|---|
| 米ドル | 76.7% |
| 日本円 | 5.7% |
| 韓国ウォン | 2.2% |
| スウェーデン・クローナ | 2.1% |
| ユーロ | 1.8% |

## 組入上位10カ国・地域

| 国・地域 | 比率 |
|---|---|
| アメリカ | 59.5% |
| 日本 | 5.7% |
| 台湾 | 5.5% |
| イギリス | 4.7% |
| 韓国 | 2.2% |
| スウェーデン | 2.1% |
| スイス | 1.9% |
| ドイツ | 1.8% |
| 中国 | 1.8% |
| ベルギー | 1.7% |

## 組入上位10業種

| 業種 | 比率 |
|---|---|
| 半導体・半導体製造装置 | 22.6% |
| 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 10.5% |
| 一般消費財・サービス流通・小売り | 8.8% |
| 資本財 | 7.0% |
| 銀行 | 6.6% |
| エネルギー | 5.8% |
| テクノロジー・ハードウェアおよび機器 | 4.9% |
| 金融サービス | 4.8% |
| 素材 | 4.5% |
| 消費者サービス | 4.1% |

## 組入上位10銘柄

| | 銘柄名 | 業種 | 比率 | 銘柄の概要 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | イーライリリー | 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス | 4.8% | 人間・動物向け医薬品の開発・製造・販売を手掛ける米国の製薬会社。 |
| 2 | エヌビディア | 半導体・半導体製造装置 | 4.8% | 半導体を主軸とするテクノロジー企業。AIやデータセンター、グラフィックス、自動運転等の分野向けプラットフォームを提供。 |
| 3 | アマゾン・ドット・コム | 一般消費財・サービス流通・小売り | 4.5% | オンライン小売を主力とする企業。多様な商品販売に加え、クラウド・プラットフォーム・サービスを世界各地で展開。 |
| 4 | TSMC／台湾セミコンダクター（ADR） | 半導体・半導体製造装置 | 4.0% | 台湾の大手半導体専業IC（集積回路）ファウンドリーメーカー。ウェハー・プロセス製造技術など、ファウンドリー業界をリードする最先端技術を提供する。 |
| 5 | アルファベット | メディア・娯楽 | 3.4% | インターネット関連事業を中核とする持株会社。検索・広告をはじめ、ソフトウエア、クラウド、ハードウエアなど幅広い分野で事業を展開。 |
| 6 | ラムリサーチ | 半導体・半導体製造装置 | 3.3% | 半導体製造装置メーカー。エッチング装置などの半導体処理装置を世界的に提供。 |
| 7 | 東京エレクトロン | 半導体・半導体製造装置 | 3.0% | 工業用電子製品メーカー。半導体・FPD・太陽光発電向け製造装置を中心に電子部品も製造し、日本、米国、台湾などで事業を行う。 |
| 8 | TJX | 一般消費財・サービス流通・小売り | 2.9% | 米国および世界各地で衣料品やホームファッションを販売し、ディスカウント小売店やオンラインサイトを運営する小売会社。 |
| 9 | リンデ | 素材 | 2.9% | 産業ガス大手。クリーン水素やCCS関連を含む各種ガスソリューションを世界的に提供。 |
| 10 | デル・テクノロジーズ | テクノロジー・ハードウェアおよび機器 | 2.7% | パソコンやサーバー、ストレージ等のIT機器・ソリューションを提供する米国のテクノロジー企業。 |

※「資産別組入状況」の現金・その他には未収・未払金が含まれます。
※比率は、イーストスプリング・インベストメンツ－グローバル・ダイナミック・グロース・エクイティ・ファンドの純資産総額を100%として計算しています。
※業種区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています（一部イーストスプリング・インベストメンツの判断に基づく分類を採用）。
なお、GICSに関しての知的財産権は、MSCI Inc.およびS&Pにあります。
※国・地域は、当該銘柄発行者の所在国・地域を記載しています。
※銘柄名は、イーストスプリング・インベストメンツが翻訳したものであり、発行体の正式名称と異なる場合があります。
※銘柄の概要は、組入銘柄の紹介を目的としてイーストスプリング・インベストメンツが作成したものであり、特定の銘柄の推奨や将来の値動きを示唆するものではありません。

当ファンドのリスク、手数料等の概要は、当資料内の「投資リスク」、「ファンドの費用」の欄をご覧ください。
また、それぞれの詳細につきましては、最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

作成基準日： 2026年7月31日

## 運用コメント

【投資環境】

7月、先進国および新興国地域の代表的な株価指数であるMSCI ACワールド指数は、前月末比+0.10%となりました。当月は、年初来の上昇をけん引してきたAI関連銘柄への期待が見直される中、半導体およびテクノロジー関連銘柄を中心に調整する展開となりました。米国では、一部の大型テクノロジー企業の好調な業績が相場の下支え要因となったものの、半導体関連銘柄の下落が重しとなりました。欧州では、銀行、エネルギー、資本財セクターが堅調に推移し、比較的底堅い展開となりました。アジアでは、韓国や台湾などが半導体関連銘柄の下落の影響を受けました。当月は先進国が小幅上昇するなかで新興国が下落しました。国別では、英国や中国が上昇する一方、韓国や台湾の下落が大きめとなりました。セクター別では、エネルギーや金融が上昇した一方で、情報技術や資本財・サービスは下落しました。為替市場では、円は対米ドル、対ユーロで上昇しました。

【運用経過】

当ファンドの基準価額は前月末比で下落しました。当月は、銀行株や遺伝子解析企業株の保有がプラス要因となった一方で、半導体製造装置メーカーやテクノロジー企業株の保有はマイナス要因となりました。投資行動としては、ITサービス・ソフトウェア企業株や銀行株などを新規に買い付けました。一方で、資源会社株やソフトウェア企業株などを全売却しました。

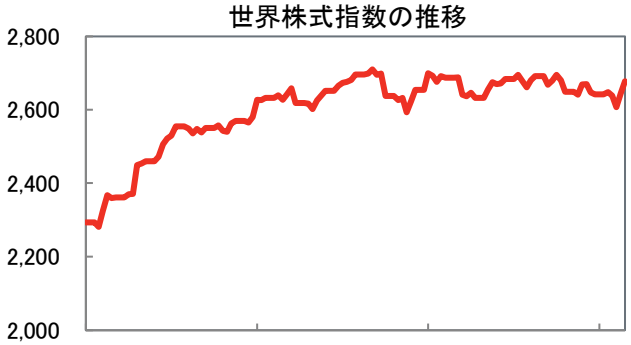
【今後の見通し】

足元の市場環境は概ね良好であるものの、米国を中心とした中央銀行による金融政策を巡る不確実性や地政学的リスクに加え、AI関連銘柄を中心とした投資家心理の変化による市場変動については引き続き注視しています。また、投資家の期待が高まっている分野については、企業業績の成長に見合ったバリュエーションを慎重に見極める姿勢を維持しています。こうした状況のもと、AIインフラ構築、先端半導体、クラウドコンピューティング、ヘルスケア関連分野などに投資機会を見出しています。さらに、持続的な競争優位性を有し、健全なバランスシートを備え、さまざまな経済環境下において着実に利益成長が見込まれる企業を選好するとともに、高い確信度を有する成長機会への投資と、地域およびセクターの分散を意識したポートフォリオの構築を行ってまいります。7月はAIおよび半導体関連銘柄を中心に急速な調整が見られましたが、当社では保有企業の事業基盤や競争力に大きな変化はないと考えています。引き続き、企業収益の質に配慮した銘柄選択と長期的な投資視点を維持してまいります。当ファンドは革新性を備え、中長期で高い成長が期待できる業界のリーダー企業を見極めます。あわせて株価や業績予想の上昇トレンドを確認し、成長が市場期待を上回る可能性のある株式市場のリーダー企業を選別することで、「真のマーケット・リーダー」へ厳選投資します。

※運用コメントは作成時点での投資環境や今後の見通しを示したものであり、将来の運用成果や市場動向を保証するものではありません。
また、将来の市場環境の変動等により、その内容が予告なく変更される場合があります。
※運用コメントは、イーストスプリング・インベストメンツ－グローバル・ダイナミック・グロース・エクイティ・ファンドの運用を担当するファンド・マネジャーのコメントをもとにイーストスプリング・インベストメンツが作成したものです。

## ご参考

世界株式指数の推移




為替レート（主要通貨）の騰落率（対円）

| | 1カ月 | 3カ月 | 6カ月 | 1年 |
|---|---|---|---|---|
| 米ドル | −1.0% | 0.2% | 4.6% | 7.6% |
| ユーロ | −0.1% | −1.2% | 1.0% | 8.4% |

※為替レートの騰落率は、一般社団法人資産運用業協会が発表する為替レートに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※基準価額への影響を考慮し、為替レートが円高に振れた場合はマイナス、円安に振れた場合はプラスと表示しています。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※MSCI指数の推移は、Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
＊世界株式指数の推移はMSCI All Country World Index（米ドルベース、トータルリターン）を採用。

当ファンドのリスク、手数料等の概要は、当資料内の「投資リスク」、「ファンドの費用」の欄をご覧ください。
また、それぞれの詳細につきましては、最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

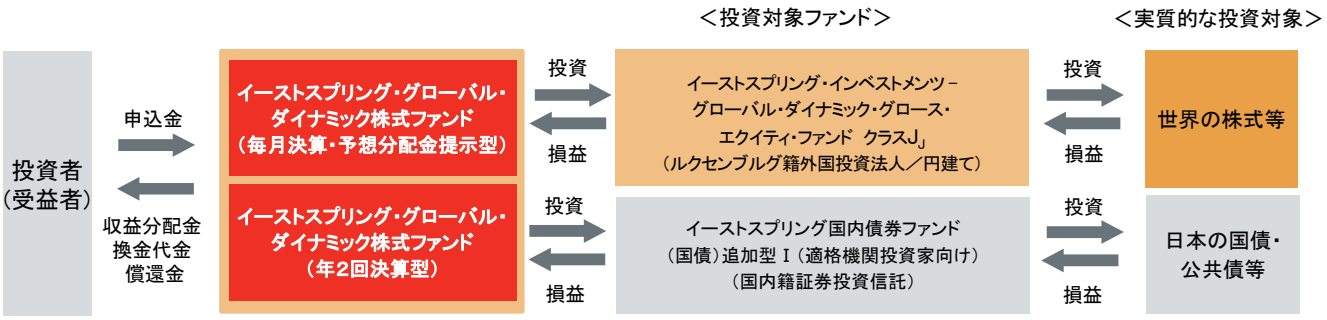
# ファンドの特色

## 1 主として世界の株式等に実質的に投資を行います。

- 「イーストスプリング・インベストメンツ － グローバル・ダイナミック・グロース・エクイティ・ファンド　クラスJ」（以下「グローバル・ダイナミック・グロース・エクイティ」ということがあります。）に投資します。
- 革新性を備え、中長期で高い成長が期待できる業界のリーダー企業を見極めます。あわせて株価や業績予想の上昇トレンドを確認し、成長が市場期待を上回る可能性のある株式市場のリーダー企業を選別することで、「真のマーケット・リーダー」へ厳選投資します。

### ファンドの仕組み

- 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。
- 原則として、「イーストスプリング・インベストメンツ－グローバル・ダイナミック・グロース・エクイティ・ファンド　クラスJ」への投資比率を高位に保ちます。




## 2 「グローバル・ダイナミック・グロース・エクイティ」の運用は、AGFインベストメンツ・インク（AGF）が行います。

- 同社は、1957年に設立されたカナダのトロントに本社を置く独立系運用会社、AGFマネジメント・リミテッドのグループ企業です。社名のAGFはアメリカン・グロース・ファンドの略称であり、年金先進国であるカナダにおいて、初めて米国株式に特化したアクティブファンドを立ち上げました。
- 運用資産残高はグループ全体で424億米ドル（2025年9月末現在 約6.3兆円 1米ドル＝148.03円で換算）に上ります。

## 3 実質的な外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

- 当ファンドは世界の株式に実質的に投資するため、その基準価額は株式の値動きに加え、為替相場の動きに影響を受けます。

# ファンドの特色

## 4 ＜毎月決算・予想分配金提示型＞と＜年２回決算型＞の2つのファンドがあります。

＜毎月決算・予想分配金提示型＞

- 原則として、毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。
- 各決算日の前営業日の基準価額（支払済み分配金（1万口当たり、税引前）累計額は加算しません。）に応じて、原則として、以下の金額の分配をめざします。

| 各決算日の前営業日の基準価額 | 分配金（1万口当たり、税引前） |
|---|---|
| 11,000円未満 | 基準価額水準等を勘案して決定 |
| 11,000円以上～12,000円未満 | 200円 |
| 12,000円以上～13,000円未満 | 300円 |
| 13,000円以上～14,000円未満 | 400円 |
| 14,000円以上 | 500円 |

※分配対象額が少額の場合や、決算日の前営業日から決算日までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記と異なる分配金額となることや分配を行わないことがあります。
※基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を行うというものではありません。
※分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。
※上記表に記載された基準価額および分配金額は、予想に基づくものであり、将来の運用の成果を保証または示唆するものではありません。

＜年2回決算型＞

- 原則として、毎年3月15日および9月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。
- 元本の成長を重視して、分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

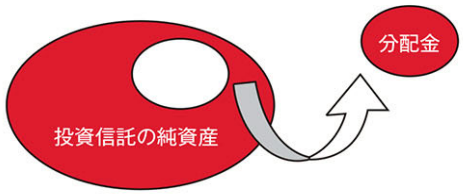
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

## 〔 収益分配金に関する留意事項 〕

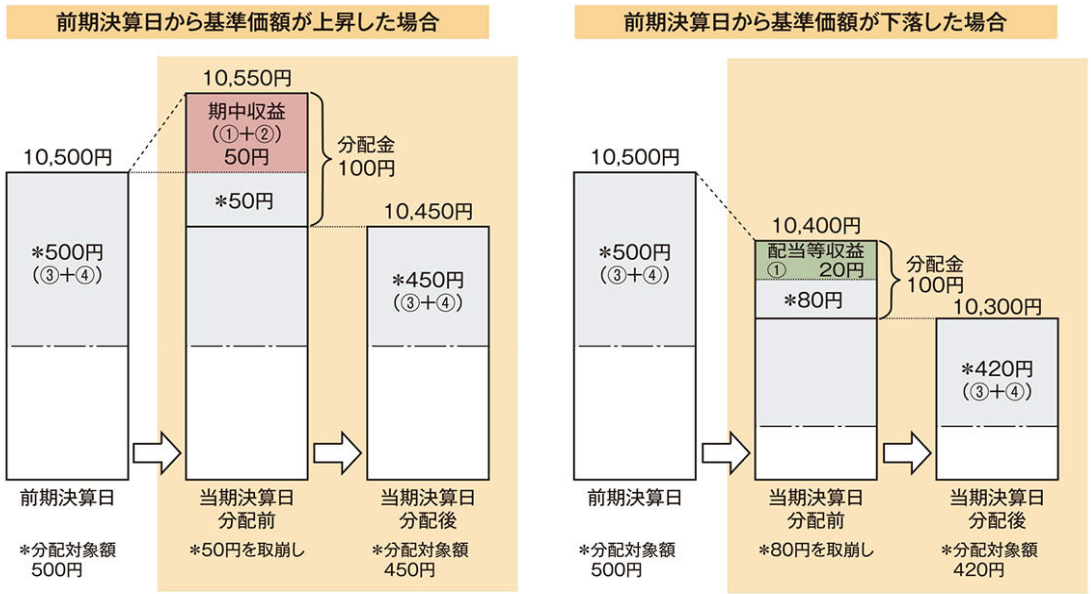
●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ




●分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

**計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合**

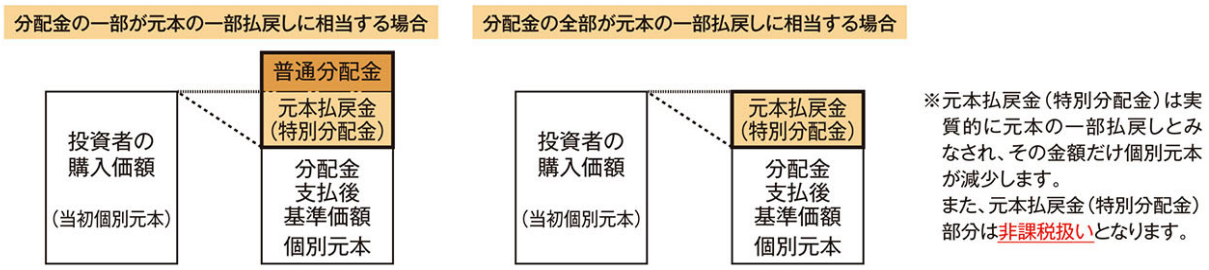



（注）分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

①経費控除後の配当等収益　②経費控除後の売買益・評価益　③分配準備積立金　④収益調整金

※上図はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆、保証するものではありません。

●投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上りが小さかった場合も同様です。




※元本払戻金（特別分配金）は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。
また、元本払戻金（特別分配金）部分は非課税扱いとなります。

普通分配金：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。（特別分配金）

（注）普通分配金に対する課税については、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社について

175年以上の歴史を有する
英国の金融サービスグループの一員です。

- イーストスプリング・インベストメンツ株式会社は、1999年の設立以来、日本の投資家のみなさまに資産運用サービスを提供しています。
- イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社は、アジア・アフリカ地域を中心に業務を展開しています。
- 最終親会社グループはいち早くアジアの成長性に着目し、2025年11月末現在、アジアでは15の国や地域で生命保険および資産運用を中心に金融サービスを提供しています。

# 投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金とは異なります。
当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて主に値動きのある有価証券に投資するため、当ファンドの基準価額は投資する有価証券等の値動きによる影響を受け、変動します。また、実質的に外貨建資産に投資しますので、為替変動リスクもあります。したがって、当ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。当ファンドの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。

＜基準価額の変動要因となる主なリスク＞

### 株価変動リスク

株式の価格は、内外の政治経済情勢、株式を発行する企業の業績および信用状況等の変化の影響を受け変動します。当ファンドは主に株式に実質的に投資を行いますので、基準価額は株価変動の影響を受けます。

### 為替変動リスク

当ファンドは、実質的に組入れた外貨建資産について原則として為替ヘッジを行いませんので、為替レートの変動の影響を受けます。為替相場が円高方向に変動した場合には、基準価額の下落要因となります。

### 信用リスク

有価証券の発行者の経営・財務状況やそれらに対する外部評価の悪化により、組入れた有価証券の価格が大きく下落し、基準価額の下落要因となる場合があります。

### 流動性リスク

組入れた有価証券の市場規模が小さく取引量が少ない場合や市場が急変した場合、当該有価証券を希望する時期や価格で売却できないことがあり、基準価額の下落要因となる場合があります。

### カントリーリスク

投資対象国・地域の政治経済情勢・通貨規制・資本規制・税制・取引規制等の要因によって資産価格や通貨価値が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となる可能性があります。また、新興国の金融市場は先進国に比べ、政治、経済、国家財政の不安定要因や法制度の変更等に対する市場感応度が大きくなる傾向があります。これに伴い、投資資産の価格が大きく変動することや投資資金の回収が困難になることがあります。

（注） 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- 金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（流動性の極端な減少等）があるときは、購入・換金のお申込みの受付けを中止することおよびすでに受付けたお申込みの受付けを取消すことがあります。
- 分配金は計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。））を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後は純資産が減少し、基準価額が下落する要因となります。投資者のファンドの購入価額によっては、支払われた分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上りが小さかった場合も同様です。
- 税制が変更されたときには、基準価額が影響を受ける場合があります。税金の取扱いにかかる関連法令・制度等は将来変更される場合があります。

※詳細につきましては、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## お申込メモ

| | |
|---|---|
| 購入単位 | 販売会社がそれぞれ別に定める単位とします。 |
| 購入価額 | お申込受付日の翌営業日の基準価額とします。 |
| 購入代金 | お申込みの販売会社の定める日までにお支払いください。 |
| 換金単位 | 販売会社がそれぞれ別に定める単位とします。 |
| 換金価額 | 換金の受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額とします。 |
| 換金代金 | 換金の受付日から起算して原則として6営業日目からお支払いします。 |
| 購入・換金申込受付不可日 | 営業日が以下の日のいずれかにあたる場合は購入・換金のお申込みはできません。<br>・ルクセンブルグの金融商品取引所の休場日または銀行休業日<br>なお、上記以外に委託会社の判断により、購入・換金申込受付不可日とする場合があります。 |
| 申込締切時間 | 原則として午後3時30分までに、購入・換金の申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。<br>なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細はお申込みの販売会社にお問い合わせください。 |
| 換金制限 | 大口換金には制限を設ける場合があります。 |
| 購入・換金申込受付の中止及び取消し | 金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付けを中止すること、すでに受付けたお申込みの受付けを取消すこと、またはその両方を行うことがあります。 |
| 信託期間 | 無期限（2026年3月27設定） |
| 繰上償還 | ・主要投資対象とする投資信託証券が存続しないこととなったときは、繰上償還されます。<br>・以下のいずれかにあたる場合には、受託会社と合意のうえ、繰上償還を行うことがあります。<br>①各ファンドについて、純資産総額が30億円を下回ることとなった場合<br>②受益者のため有利であると認める場合<br>③やむを得ない事情が発生した場合 |
| 決算日 | ＜毎月決算・予想分配金提示型＞<br>毎月15日（休業日の場合は翌営業日）<br>＜年2回決算型＞<br>毎年3月15日および9月15日（休業日の場合は翌営業日） |
| 収益分配 | ＜毎月決算・予想分配金提示型＞<br>原則として毎月決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。<br>＜年2回決算型＞<br>原則として毎年2回決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。<br>また、受益者と販売会社との契約によっては、税金を差引いた後、無手数料で収益分配金の再投資が可能です。 |
| 信託金の限度額 | 各ファンド 1兆5,000億円 |
| 公告 | 日本経済新聞に掲載します。 |
| 運用報告書 | 委託会社は、毎年3月および9月の決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に交付します。 |
| 課税関係 | 課税上は、株式投資信託として取扱われます。<br>公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象となります。<br>＜年2回決算型＞は、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。<br>＜毎月決算・予想分配金提示型＞はNISAの適用対象ではありません。<br>益金不算入制度および配当控除の適用はありません。 |

※詳細につきましては、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

| | |
|---|---|
| 購入時手数料 | **3.3%（税抜3.0%）を上限**として販売会社がそれぞれ別に定める率を、お申込受付日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額とします。 |
| 信託財産留保額 | 換金の受付日の翌営業日の基準価額に**0.1%**の率を乗じて得た額とします。 |

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

| | | | |
|---|---|---|---|
| 運用管理費用（信託報酬等） | 当ファンド① | 純資産総額に対して年率1.21%（税抜1.1%）<br>計算期間を通じて毎日費用として計上され、日々の基準価額に反映されます。信託財産からは毎計算期末または信託終了時に支払われます。<br>＜当ファンド①の配分＞ | |
| | | 委託会社 | 年率0.418%（税抜0.38%） |
| | | 販売会社 | 年率0.770%（税抜0.70%） |
| | | 受託会社 | 年率0.022%（税抜0.02%） |
| | 投資対象とする投資信託証券② | 年率0.51%程度 | |
| | 実質的な負担（①＋②） | **年率1.72%程度（税込）** | |
| その他の費用・手数料 | 信託事務の処理等に要する諸費用（監査費用、目論見書および運用報告書等の印刷費用、公告費用等）は、純資産総額に対して年率0.10%を上限とする額が毎日計上され、日々の基準価額に反映されます。信託財産からは3月および9月の計算期末または信託終了時に支払われます。また、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等についても信託財産から支払われます。<br>「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示することができません。 | | |

※投資者のみなさまが負担する費用の合計額は、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 委託会社およびファンドの関係法人

委託会社およびその他の関係法人の概要は以下の通りです。

委託会社 **イーストスプリング・インベストメンツ株式会社**
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人資産運用業協会
当ファンドの委託会社として信託財産の運用業務等を行います。

受託会社 **野村信託銀行株式会社**
当ファンドの受託会社として信託財産の保管・管理業務等を行います。

販売会社 販売会社に関しては、次ページをご覧ください。
販売会社は、当ファンドの受益権の募集の取扱いおよび販売、換金に関する事務、収益分配金・換金代金・償還金の支払いに関する事務等を行います。

※詳細につきましては、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

# 販売会社一覧　投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お申込先

（毎月決算・予想分配金提示型）

| 金融商品取引業者等 | 金融商品取引業者 | 登録金融機関 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人資産運用業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 | 一般社団法人日本STO協会 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社SBI証券 | ○ | | 関東財務局長（金商）第44号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 播陽証券株式会社 | ○ | | 近畿財務局長（金商）第29号 | ○ | | | | |
| 松井証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長（金商）第164号 | ○ | | ○ | | |
| マネックス証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長（金商）第165号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| むさし証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長（金商）第105号 | ○ | | | ○ | |
| 楽天証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長（金商）第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 株式会社イオン銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社） | | ○ | 関東財務局長（登金）第633号 | ○ | | | | |
| 株式会社SBI新生銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社） | | ○ | 関東財務局長（登金）第10号 | ○ | | ○ | | |

※上記は当資料作成時点での予定を含む情報を記載しています。また、金融商品仲介業者を含むことがあります。

（年2回決算型）

| 金融商品取引業者等 | 金融商品取引業者 | 登録金融機関 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人資産運用業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 | 一般社団法人日本STO協会 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 株式会社SBI証券 | ○ | | 関東財務局長（金商）第44号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 播陽証券株式会社 | ○ | | 近畿財務局長（金商）第29号 | ○ | | | | |
| 松井証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長（金商）第164号 | ○ | | ○ | | |
| マネックス証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長（金商）第165号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| むさし証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長（金商）第105号 | ○ | | | ○ | |
| 楽天証券株式会社 | ○ | | 関東財務局長（金商）第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 株式会社イオン銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社） | | ○ | 関東財務局長（登金）第633号 | ○ | | | | |
| 株式会社SBI新生銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社） | | ○ | 関東財務局長（登金）第10号 | ○ | | ○ | | |

※上記は当資料作成時点での予定を含む情報を記載しています。また、金融商品仲介業者を含むことがあります。

照会先：
**イーストスプリング・インベストメンツ株式会社**
TEL.03-5224-3400
（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）
ホームページアドレス https://www.eastspring.co.jp/

## ご留意事項

○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、当ファンドの参考となる情報の提供およびその内容やリスク等を説明するために作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。○当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。○投資信託は、預貯金および保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護および補償の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の補償対象ではありません。○ご購入の際は、あらかじめ販売会社がお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）の内容を必ずご確認のうえ、投資のご判断はご自身でなさいますようお願いいたします。